

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスこころん第二学習支援教室		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日 ～ 2025年 3月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25 (回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日 ～ 2025年 3月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	不登校支援	障害福祉課、子育て相談室、中学校、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーなどの各機関との連携、情報共有を密にしている	親の会や、フリースクール、こども食堂などのこども支援を行っているところとも連携を深めたい
2	自由な空間	ルールを設けず、相手を尊重できる自由を日々の利用の中から自主的に考え判断し学べる関りを大事にしています	発達障害についての外部研修導入、発達障害支援センターとの連携、スーパーバイジングの受け入れ
3	安全な居場所	誰にも束縛されない、怒られない、自分表現を肯定される安全な居場所づくりに取り組んでいます	公認心理師などによる心理的ケア、面談、支援の充実

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域への広報（地域に根付いた活動）	さまざまな要因で受給者証を持ってない或いは放課後デイ等の福祉資源を知らないまま家庭で悩んでいるような方は少ない現状がある	イベントへの無料参加のお知らせ、地域のお祭り等への積極的な参加などを行っているが、さらなる広報的な必要性を感じている
2	低学年児童への支援	不登校児の支援を考えるにあたり、当初は中学生を中心に想定した取り組み内容を考えてきたが、最近低学年児童の不登校の相談が増えてきた	自立支援協議会こども部会を通じて、地域の他所放課後デイとの情報交換ができるようになり、低学年児童への支援、配慮などを話し合うことができています
3	送迎を行っていない	近隣在住の中学生、高校生の利用が主となると想定していたので、送迎の体制を取っていないが、低学年児童の問い合わせが増えるにつれ送迎の有無を問われることが増えた	送迎車両の購入、運転手など人員の拡充、車両の保管場所の確保、安全計画、送迎範囲の設定、ルートの検討など検討課題は多い。